

# est! forecast 利用規約

本規約は、株式会社東京システム技研（以下「当社」といいます。）が運営するサービス「est! forecast」を利用する上で、すべての利用者に適用される規約です。

## 1. 定義

本規約で使用する用語は次のとおり定義されます。

- 1) 「本サービス」とは、当社が運営するサービス「est! forecast」をいい、est! forecast としてインターネット上で運営するサービス及びウェブサイト、そのシステム及びそれらに関連して提供される機能、付帯サービス、ソフトウェアを含みます。
- 2) 「利用者」とは、est! forecast サービス契約約款（以下「本約款」といいます。）第2条1号に定める者（本約款第3条によって当社が承認した本サービスの提供を受ける者及びその者から本サービスを利用する正当な権限を与えられた役員、従業員等であって、その行為の効果が本約款第3条によって当社が承認した本サービスの提供を受ける者に帰属する者）をいいます。
- 3) 「ユーザ ID」とは、利用者が本サービスを利用するに当たって、当該利用者とその他の者を識別するために用いられる符合をいいます。
- 4) 「パスワード」とは、ユーザ ID と組み合わせて、当該利用者とその他の者を識別するために用いられる符合をいいます。
- 5) 「est! forecast API」とは、本サービスが提供する機能をアプリケーションプログラムから利用することを可能とするため、本サービスが提供するアプリケーションインタフェースをいいます。
- 6) 「アプリケーションキー」とは、est! forecast API を使用するアプリケーションを利用するに当たって、当該アプリケーションとその他のアプリケーションを識別するために用いられる符号をいいます。

## 2. 本規約の適用、運用

- A) 利用者は、本約款及び本規約に従って本サービスを利用するものとします。利用者は、本約款を締結することによって本規約に同意したものとみなします。
- B) 当社は、任意の理由により、利用者に事前に通知することなく、本規約を変更、追加、及び削除（以下「変更等」といいます。）することができるものとします。当社は、本規約の変更等を行った場合には、その旨を利用者に通知するものとします。本規約の変更等が行われた後、利用者が本サービスを利用することによって、変更等が行われた後の本規約に同意したものとみなします。

### 3. サービスの利用

- A) 本サービスを利用するにあたり、利用者は当社が発行するユーザ ID 及びパスワードを取得する必要があります。
- B) 本サービスが提供する est! forecast API を利用する場合は、利用者は当社が発行するアプリケーションキーを取得する必要があります。
- C) 利用者は、当社が本サービスの利用者に対して発行するユーザ ID、パスワード及びアプリケーションキーを、第三者へ譲渡又は貸与等することはできません。
- D) 利用者は、当社が本サービスの利用者に対して発行するユーザ ID、パスワード及びアプリケーションキーを、自己責任にて厳重に管理するものとします。
- E) 当社は、当社が利用者に対して発行したアカウントにより本サービスにログインがされ、本サービスの利用があった場合、当該アカウントで登録されている利用者が利用したものとして取り扱います。この利用によって生じた結果及びその責任は、当該利用者の故意・過失を問わず、当該利用者が負うものとし、当社は一切の責任を負いません。

### 4. 個人情報

- A) 利用者は、本サービスの利用に当たって、利用者の役員、従業員その他の個人情報を登録することはできません。

### 5. サービスの中断、停止、変更、終了

- A) 当社は、以下の理由により、本サービスの全部又は一部を中断、若しくは停止（以下「中断等」といいます。）することができるものとします。
  - ① 定期的、または緊急に本サービスに関するシステムの保守・点検・修理・変更等を行う場合
  - ② サーバや通信回線等の設備の故障・障害により、本サービスの提供が不可能となった場合
  - ③ 災害・天災・戦争・騒乱・疫病等の発生により、本サービスの提供が困難であると判断した場合
  - ④ 運用上・技術上の問題により、本サービスの運営に支障が生じると判断した場合
- B) 当社は、前項による中断等の必要が生じた場合には、事前に利用者へ通知するものとします。ただし、緊急やむを得ない場合はこの限りではありません。
- C) 当社は、当社のみ判断により、本サービス内容及び仕様の変更をすることができるものとします。その場合には、利用者に対し、当社が適当と判断する方法によりその旨を通知します。
- D) 本サービスの中断、停止、及び本サービス内容の変更により利用者へ発生した損害について、当社はいかなる責任も負わないものとします。
- E) 当社は、利用者に対し、6ヶ月前までに通知を行うことにより、本サービスを終了することができるものとします。

## 6. 通知、連絡等

- A) 当社が利用者に対して通知、連絡等を行う必要があると判断した場合は、電子メール、本サービスのウェブサイトへの掲載など、当社が適当と判断する方法により行うものとします。
- B) 当社が利用者に対して電子メールによって通知・連絡等を行う場合は、本サービスの利用申込み時に登録されるサービス利用管理者の電子メールアドレスに対して行うものとします。当社が利用者管理者の電子メールアドレスに対して通知・連絡等を行ったときは、その発信をもって利用者へ通知・連絡等がされたものとし、その通知・連絡等が利用者へ届かなかったことにより利用者へ被る損害について、当社は一切その責任を負わないものとします。

## 7. 利用者の責務

- A) 利用者は、サーバに保存されたデータ等の毀滅に備えて定期的にテキスト・画像等のバックアップを行うものとするほか、本サービスの利用及び本サービス内における一切の行為（データの登録、保存、閲覧、削除、送信等）及びその結果について、一切の責任を負います。
- B) 本サービスの利用者は、当社からの通知・連絡が常に受け取れる電子メールアドレスをサービス利用管理者の電子メールアドレスとして登録するものとします。

## 8. 知的財産権

本サービスを構成する有形・無形の構成物（ソフトウェアプログラム、アイコン、画像、文章、マニュアル等の関連ドキュメントを含む。）に関する著作権を含む一切の知的財産権は、当社又は当社に許諾した第三者に帰属します。

## 9. 禁止事項

- A) 利用者は本サービスを利用するにあたり、以下の各号に該当する行為、またはそのおそれがある行為を行ってはならないものとします。
  - ① 本規約に違反する行為
  - ② 法令に違反する行為、犯罪行為、及びそれらを教唆、幫助する行為
  - ③ 当社及び第三者（他の利用者を含む。本条において以下同じ。）の知的財産権（特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権、著作者人格権等）及びその他の権利を侵害する行為
  - ④ 当社の承諾なしに本サービスの利用者として有する権利を第三者に転売、再販売、譲渡、若しくはこれに類する行為、又は質権の設定その他担保に供する行為
  - ⑤ サーバ又はネットワークへ著しく負荷をかける行為
  - ⑥ 他人になりすましてサーバにアクセスする行為、その他不正にアクセスする行為
  - ⑦ 本サービスのプログラムのバグ等の不具合の利用、又は悪用をする行為
  - ⑧ 不正アクセス行為の禁止等に関する法律に違反する行為、電子計算機損壊等業務妨害罪（刑法第 234 条の 2）に該当する行為、その他当社及び第三者のサーバ、コンピューターその他設備

に対して不正な操作を行う行為

- ⑨ 本サービス上に利用者が登録したデータ等、当社のサーバ内の情報を改ざんする行為
- ⑩ コンピューターウイルス等有害なプログラムを使用、実行、送信又は提供する行為
- ⑪ 本サービスを構成するソフトウェアの解析、リバースエンジニアリングその他ソースコードを入手しようとする行為
- ⑫ 他の利用者の利用を妨害する行為
- ⑬ 登録情報に虚偽の内容を登録する行為
- ⑭ 他の利用者のデータを閲覧、変更、改ざんする行為
- ⑮ その他、当社が不適切と判断する行為

## 10. 対処

- A) 当社は、利用者が本規約に違反した又はそのおそれがある場合、若しくは利用者による本サービスの利用に関し第三者から当社に対しクレーム、請求等がなされ、かつ当社が必要と認めた場合、その他本サービスの運営上不適当と当社が判断した場合は、当該利用者に対し、事前に通知することなく、次の措置のいずれか、又はこれらを組み合わせた措置を講ずることができるものとし、利用者はこれに従うものとしします。
  - ① 本規約に違反する行為、又はそのおそれのある行為を中止すること、及び同様の行為を繰り返さないよう要請すること（注意喚起、勧告、事後通知等を含む。以下同じ。）
  - ② 第三者との間で、クレーム等の解消のための協議を行うよう要請すること
  - ③ その他、当社が適切と判断する措置を行うよう利用者に要請すること
  - ④ 本サービスの利用停止措置を講じること
  - ⑤ 適切な管轄省庁、捜査機関、仲裁機関又は裁判所へ通報、相談し、若しくは民事上、刑事上の救済措置を講じること
  - ⑥ 当社に生じた損害の賠償請求をすること
  - ⑦ その他、当社が適切と判断する措置を講じること
- B) 前項の規定は、当社に利用者の行為を監視する義務、及び前項の定める措置を講ずべき義務を課すものではありません。当社が前項に定める措置を講じなかったことにより、利用者又は第三者が被った損害について、当社は一切その責任を負わないものとしします。
- C) 当社が本条 A 項に定める措置を講じた場合に、当該措置に起因する結果に関して当社は一切その責任を負わないものとしします。

## 11. 免責事項

- A) 当社は、利用者に対し、本サービスの内容、機能、及び利用により得る成果等について、その完全性、正確性、確実性、目的適合性、有用性、合法性等いかなる保証も行いません。
- B) 本サービスの利用に供する装置、ソフトウェア、又は通信網の瑕疵、障害、動作不良、若しくは不具合により、利用者に損害が生じた場合であっても、当社に故意又は重大な過失がある場合を除き、

一切その責任を負わないものとします。

- C) 本サービス内に保管された利用者データの漏洩、滅失、損壊について、当社に故意又は重大な過失がある場合を除き、一切の責任を負わないものとします。
- D) 本サービスへのアクセス過多、その他予期せぬ要因で本サービスの表示速度の低下や障害等が生じた場合、それによって生じたいかなる損害についても、当社は一切その責任を負わないものとします。
- E) 本サービスにおいて、利用者間、又は利用者と第三者の間で生じたトラブルに関して、当社は一切その責任を負わないものとします。この場合、他の本サービスの利用者、又は第三者が当社に対して責任を追及したために当社が損害賠償金の支払い、和解金の支払いその他の損害を被り、または防御費用（弁護士報酬及び訴訟費用を含む。）の支出をしたときは、利用者は直ちに当社の損害及び支出した費用を補償するものとします。
- F) 当社は、次に掲げる場合には、本サービスのサーバ上の全てのデータ、及びその他の情報を必要な範囲で第三者に開示することができるものと、それによって生じたいかなる損害についても、当社は一切その責任を負わないものとします。なお、本項の規定は、当社にデータの開示を行うべき義務を課すものではありません。
  - ① 本規約違反の有無等を確認する必要がある場合
  - ② 人の生命、身体、財産などに差し迫った危険があり、緊急の必要性がある場合
  - ③ 裁判所や警察などの公的機関から法令に基づく正式な照会を受け、これを開示する義務を負う場合
  - ④ 本サービスの技術的不具合を解消するために必要な場合
  - ⑤ 利用者がデータの開示に同意した場合
  - ⑥ 当社がデータの開示の同意を求めた後、これを拒否する旨の当該利用者の回答が当社に到達しなかった場合
  - ⑦ その他本サービスを適切に運営するために必要が生じた場合
- G) 本条 B 項及び C 項の規定により当社が責任を負う場合、又は、当社の故意又は重大な過失によって本サービスに重大な瑕疵が認められ、これによって利用者に損害が発生した場合、当社は相当因果関係のある直接かつ積極的な損害（事業機会の損失、特別損害、逸失利益は含まない）に限り、本サービスの月額利用料の 3 か月分を上限として損害賠償責任を負うものとします。

## 12. 譲渡禁止、準拠法

- A) 利用者は、本規約に基づく権利義務の全部又は一部を第三者に譲渡したり、担保に供することはできません。
- B) 本規約の成立、効力、履行、及び解釈に関しては、日本国法が適用されるものとします。

(2019年4月1日作成)